

# アカカンガルーの「イッチ」

須坂市動物園にいるアカカンガルー5頭の中で、最年長なのが雄の「イッチ」です。現在11歳。飼育下でのアカカンガルーの平均寿命は10年前後といわれているので、もう高齢といつてよく、若い個体よりも治療や検査の必要性が高くなります。

治療などを施すには、イッチを捕まえなければなりません。でもこのやり方ですと、逃げ回ったりするイッチの負担がかなり大きくなってしま

## 飼育員 日誌



長野・須坂市動物園

まいます。そこで、少しでも軽減しようと、「ハズバンダリートレーニング」という取り組みを始めました。

トレイニングを通して、

## もう高齢 治療時の負担軽減習得中

注射や採血を行うときに、「この場所に来て動かないで待っていてね」ということを覚えてもらっています。結果として、動物の自発的な動きで治療が行えるため、負担を軽減できると期待されています。

すでに実践しているほかの動物園の事例を参考にしてトレイニングを続け、先日初めて、捕獲することなく、実際にイッチに注射を打てました。今後も継続していき、お互いに安心して治療ができる環境を作っていきたいと思います。

